

令和3年度 消防長視閲救急隊訓練を実施しました！

令和3年11月19日（金）、26日（金）、12月3日（金）の3日間、この度新庁舎になった向日消防署で「消防長視閲救急隊訓練」を実施しました。

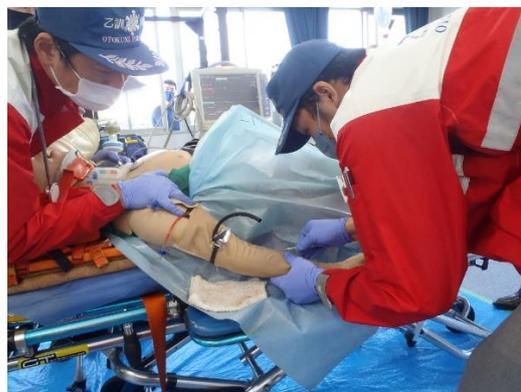
救急隊の指導的立場である指導救命士の認定を受けている職員を中心に、向日救急隊が訓練の想定を作り、進行、評価を行いました。

事前に想定を知らされない訓練でしたが、日頃の救急活動もその場その場で活動を組み立てなければなりません。このような実践的な訓練を行うことでより一層、判断力や技術を磨き、住民の皆様にご安心・安全をご提供できればと思います。

また救急救命士の資格を持ち、長年現場で救急隊長として活動された経験がある消防長の視閲を受け、最後の講評では若い世代の救急隊員に熱い想いを引き継がれました。



人工呼吸と胸骨圧迫を実施中



救急救命士が出来る処置の一つである静脈路確保



交通事故等で負傷した傷病者の首を保護するために固定をしています。



適切な手技が行われているか、評価する隊員が目を凝らして確認しています。



訓練を振り返って評価隊から評価を受けています。実際の現場で活かせるようにアドバイスを受けました。



救急救命士として長らく活躍されて来た消防長より講評を受けました。